
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第148号

2013/06/05配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 5/29～6/05までの更新情報 -----

●経済産業省

【2013/05/23】

・化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会(第1回) - 配布資料

→ http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seisan/kisei/001_haifu.html

5月13日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、国際的な化学物質規制拡大の動きと我が国企業アジア展開への影響、など。

【2013/05/30】

・化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会(第1回) - 議事要旨

→ http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seisan/kisei/001_giji.html

5月13日に開催された標記会合の議事要旨が掲載された。議題は、国際的な化学物質規制拡大の動きと我が国企業アジア展開への影響、など。

【2013/05/30】

・情報共有ワーキンググループ(第1回) - 配布資料

→ http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seisan/kisei/joho_wg/001_haifu.html

5月16日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

(1)電気電子分野の化学物質情報の伝達に関する国際的な動向について(IEC62474国内委員会)

(2)国内における取り組みについて(JAMP)

(3)化学品に関するリスク評価について(日本化学工業協会)

など。

【2013/05/31】

・第11回産業と環境小委員会、リスク管理小委員会産業環境リスク対策合同ワーキンググループ - 議事録

→ http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004033/pdf/011_gijiroku.pdf

4月12日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、

- (1) VOC排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
 - (2) 今後のVOC排出抑制のための自主的取組における取組の目指すべき方向性及び方策の設定の考え方について
 - (3) VOC排出抑制のための自主的取組参加企業の拡充に向けた考え方について
 - (4) 光化学オキシダント及びPM2.5に関する課題等について
 - (5) 有害大気汚染物質に関する自主管理のフォローアップについて
- など。

●厚生労働省

【2013/05/29】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会 議事録

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r985200000332hv.html>

3月26日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、

○食品中の残留農薬等に係る基準の設定について

- ・ジノテフラン(農薬及び動物用医薬品)
- ・クロラントラニリプロール(農薬)
- ・イソピラザム(農薬)
- ・シアゾファミド(農薬)
- ・フルリドン(農薬)

など。

【2013/05/29】

・平成25年度 第1回化学物質のリスク評価検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r985200000330jb.html>

4月26日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

○平成24年度リスク評価対象物質のリスク評価について

- ・1,2-ジクロロプロパン リスク評価書(案)
- ・フェニルヒドラジン 初期リスク評価書(案)

・ナフタレン 初期リスク評価書(案)
など。

【2013/05/31】

・「化学物質のリスク評価検討会報告書(第1回)」を公表
→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000033a5p.html>

標記報告書が掲載された。平成24年に調査対象となった10物質のうち、1,2-ジクロロプロパンは健康障害防止措置の検討を行うべき、ナフタレンについては詳細なリスク評価が必要、フェニルヒドラジンは関係事業者による自主的なリスク管理を進めることが適当との結果が得られた。

【2013/05/31】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会 配布資料
→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000033bhe.html>

5月29日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
○食品中の残留農薬等に係る基準の設定について

- ・イソプロチオラン(農薬及び動物用医薬品)
- ・メトキシフェノジド(農薬)
- ・ピラクロストロビン(農薬)
- ・チフルザミド(農薬)

など。

【2013/05/31】

・皮膚感作性試験代替法(LLNA:DA、LLNA:BrdU-ELISA)を化粧品・医薬部外品の安全性評価に活用するためのガイダンスについて(平成25年5月30日事務連絡)
→ <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T130531I0010.pdf>

標記通知が掲載された。

【2013/06/03】

・平成25年度化学物質のリスク評価検討会(第2回) 配布資料
→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000033f0q.html>

5月24日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
(1)平成24年度リスク評価対象物質のリスク評価について

- ・フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(別名DEHP) 初期リスク評価書(案)
 - ・リフラクトリーセラミックファイバー 初期リスク評価書(案)
 - ・ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト(DDVP) 詳細リスク評価書(案)
- (2)発がん性を有する有機溶剤の今後の対応について
など。

●農林水産省

【2013/06/03】

- ・農薬行政の刷新についてのコーナーを新設しました。
- http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_sassin/index.html

標記サイトが新設された。現在農林水産省が進めている「農薬行政の刷新」の具体的な取組に関する情報が掲載されている。

●内閣府食品安全委員会

【2013/05/27】

- ・「食品安全委員会(第475回)の会合結果」を掲載
- <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20130527sfc>

5月27日に開催された標記会合の配布資料が記載された。議題は、

(1)添加物専門調査会における審議結果について

- ・「アドバンテーム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「ポリビニルピロリドン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

(2)食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・添加物「イソプロパノール」に係る食品健康影響評価について
- など。

【2013/05/28】

- ・「国際共同シンポジウム開催について」を掲載
- http://www.fsc.go.jp/osirase/annai_symposium2507.html

下記の要領にて標記シンポジウムが開催される。

日時:7月3日 10:30~17:30

場所:三田共用会議所 講堂(東京都港区三田2-1-8)

定員:約200名

内容:

- ・講演(午前の部) 食品健康影響評価に係る研究の最新動向
- ・講演(午後の部) 食品健康影響評価の国際的動向
- ・シンポジウム 食品健康影響評価の今後

【2013/05/28】

- ・食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集について

- ・アドバンテーム

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_tenkabutu_advan_250528.html

- ・ポリビニルピロリドン

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc2_tenkabutu_pvp_250528.html

- ・フラボフォスフォリポール

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc3_hishiryo_flavo_250528.html

- ・アプラマイシン

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc4_hishiryo_apra_250528.html

5月28日から6月26日までの間、標記の意見募集が行われている。

【2013/05/28】

- ・「食品安全関係情報を更新しました」を掲載

→

http://www.fsc.go.jp/fsciiis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2013&from_month=5&from_day=2&to=struct&to_year=2013&to_month=5&to_day=17&areaId=00&countryId=000&informationSource

最新2週間分の海外情報(5月2日～5月17日)が更新された。食品安全総合情報システムで検索できる。

【2013/06/03】

- ・第476回食品安全委員会で報告した食品安全関係情報(5月2日～5月17日収集分)について

→ http://www.fsc.go.jp/iinkai/hazard/kai20130603_476sfc.pdf

標記資料が掲載された。

【2013/05/29】

- ・ 食品安全情報(化学物質) No. 11 (2013. 05. 29)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2013/foodinfo201311c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

● 農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2013/05/30】

- ・ [メールマガジン]バックナンバーに第486号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No486.htm

標記資料が掲載された。

【2013/06/03】

- ・ 登録・失効農薬情報を更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/toroku/index.htm>

標記情報が更新された。

【2013/06/04】

- ・ 農薬登録情報ダウンロードを更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/index.htm>

標記情報が更新された。

● 中小企業基盤整備機構

【2013/05/31】

- ・ [J-Net21]REACH Q. 387:SVHCの定義について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/387.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/05/31】

- ・ [J-Net21]RoHS コラム:RoHS(II)制限物質の見直し (3)

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/column/130531.html>

標記コラムが掲載された。

●経済協力開発機構(OECD)

【2013/05/29】

- ・ OECD Guidance Document on Standardised Test Guidelines for Evaluating Chemicals for Endocrine Disruption

→

<http://www.oecd.org/env/ehs/testing/oecdguidancedocumentonstandardisedtestguidelinesforevaluatingchemicalsforendocrinedisruption.htm>

OECDは、内分泌かく乱物質のテストガイドラインに関するガイダンス文書を発表した。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2013/05/28】

- ・ ECHA publishes its first five-year strategic plan for public consultation

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-publishes-its-first-five-year-strategic-plan-for-public-consultation

ECHAは、2014～2018年にかけての作業計画(Multi-Annual Work Programme 2014-2018)の草案を公表した。コメントの提出期限は、7月15日。

【2013/05/29】

- ・ Public consultation on RAC's draft opinion on the toxicity to reproduction of gallium arsenide

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/public-consultation-on-racs-draft-opinion-on-the-toxicity-to-reproduction-of-gallium-arsenide

ECHAは、ヒ化ガリウムの生殖発生毒性に関するリスク評価専門委員会(RAC)の意見草案に対するパブリックコンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は、6月19日。

【2013/06/03】

- 2923 more chemicals registered by industry under REACH

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/2-923-more-chemicals-registered-by-industry-under-reach

ECHAは、5月31日が登録期限となっていた年間製造輸入量100t～1000tの物質の予備登録の結果を発表した。9084のドシエ・2923以上の物質が3215の企業から提出された。

●ECETOC

【2013/05/29】

- New ECETOC report addresses bioavailable residues in soils and sediments

→

<http://www.ecetoc.org/index.php?mact=Newsroom,cntnt01,details,0&cntnt01documentid=218&cntnt01returnid=76>

ECETOCは、技術ガイダンスNo. 117 「(土壌残留物質の)抽出技術と生物学的利用可能性の関係性の解明」を公表した。

【2013/05/29】

- New ECETOC report offers guidance for the inclusion of non-extractable residues (NER) in the risk assessment of chemicals

→

<http://www.ecetoc.org/index.php?mact=Newsroom,cntnt01,details,0&cntnt01documentid=219&cntnt01returnid=76>

ECETOCは、技術ガイダンスNo. 118 「(土壌や底質に吸着した)非抽出性残留物(non-extractable residues)のリスク評価に関する暫定版ガイダンス」を公表した。

●US EPA

【2013/05/29】

- EPA Proposes Rules to Protect Americans from Exposure to Formaldehyde

→ <http://www.epa.gov/oppt/chemtest/formaldehyde/index.html>

米国EPAは、TSCAに基づき、ホルムアルデヒドの暴露から国民を守るため

の規則を提案した。複合木材製品に使用されるホルムアルデヒドの放散基準、第三者機関による認証制度の設立等に関する規則が提案されている。

【2013/05/31】

- ・ Proposed Modification of Significant New Uses of 1-Propene, 2,3,3,3-tetrafluoro-
-

<https://www.federalregister.gov/articles/2013/05/31/2013-12779/proposed-modification-of-significant-new-uses-of-1-propene-2333-tetrafluoro->

米国EPAは、TSCAに基づき、1-Propene, 2,3,3,3-tetrafluoro-(CAS:754-12-1) に対する重要新規利用規則(SNUR)(提案規則)を公布した。コメントの提出期限は、7月1日。

●化学物質国際対応ネットワーク

【2013/05/31】

- ・ コラム「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)と化学物質管理のこれから」第7回を掲載しました。

→ http://www.chemical-net.info/column_kizuki_kitamura.html#vol7

標記コラムが掲載された。内容は、「マスメディアの役割について」、など。

●環境展望台

【2013/06/03】

- ・ カナダ、地表オゾンと粒子状物質(PM)の大気質基準を強化

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=11095>

カナダの環境省と保健省は5月24日、地表オゾンと粒子状物質(PM)に関する新たな大気質基準を発表した。

●セミナー情報

【2013/05/28】

- ・ 【内閣府食品安全委員会】「国際共同シンポジウム開催について」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/annai_symposium2507.html

下記の要領にて標記シンポジウムが開催される。

日時:7月3日 10:30~17:30

場所:三田共用会議所 講堂(東京都港区三田2-1-8)

定員:約200名

内容:

- ・講演(午前の部) 食品健康影響評価に係る研究の最新動向
- ・講演(午後の部) 食品健康影響評価の国際的動向
- ・シンポジウム「食品健康影響評価の今後」

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム